



日本褥瘡学会 在宅褥瘡セミナー 埼玉県

(第7回 埼玉県支部合同委員会教育セミナー)

在宅褥瘡の予防・治療について

—「在宅褥瘡管理者」対応講習—

2017年1月28日(土)
9:45~17:35
(受付9:00より)

●お申し込み方法は、別紙を
ご参照ください

申込み締切：1月11日(水)正午

★プログラム★

1. 褥瘡とリスクファクターの解説
三郷中央総合病院 WOCN 柴田智恵子
2. 褥瘡の状況をどう表現するか
越谷市立病院 WOCN 島田美穂
3. 予防と治療：在宅の栄養支援
鶴巻温泉病院 在宅訪問管理栄養士 高崎美幸
4. 【演習】在宅でのポジショニングの実際
所沢緑ヶ丘病院 理学療法士 藤村 宏 ほか
5. 家族への指導とスキンケア
けやき通り訪問看護ステーション WOCN 清野美砂
6. 褥瘡の薬物療法、ドレッシング法
ふくろ皮膚科クリニック 袋 秀平
7. 外科療法と、入院手術の適応
イムス富士見総合病院 形成外科 深井 孝郎
8. 総合討論：在宅褥瘡患者さんを支える
けやき通り訪問看護ステーション WOCN 清野美砂
日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 袋 秀平
埼玉県看護協会鳩ヶ谷訪問看護ステーション所長
ケアマネージャー 白石恵子
川口市立医療センター老人看護専門看護師 大友 晋

会 場：川口市立医療センター 3階 講堂
埼玉県川口市西新井宿180
Tel 048-287-2525

定 員：200名(申込先着順)

対 象：褥瘡ケアに関わるすべての医療従事者

参加費：3,000円 テキスト(『日本褥瘡学会編在宅
褥瘡予防・治療ガイドブック(第3版)』代を含む)
(当日会場でお支払いください)

主 催：日本褥瘡学会埼玉県支部合同委員会

世話人：川口市立医療センター 渡邊 成

*昼食は各自でご用意をお願いします



埼玉高速鉄道新井宿駅1番出入口より
徒歩約10分

600台収容の有料駐車場あり

● お申し込み方法

1. 日本褥瘡学会のホームページ上にある日本褥瘡学会・在宅褥瘡セミナー受講申し込みフォーム(<http://www.jspu.org/jpn/event/topic3.html>)に、必要事項を入力し、送信してください。
2. 申し込み時に入力したメールアドレスに「参加証(A)」が届きます。
3. ＜受講証の発行を希望される場合＞
「参加証(A)」を2部印刷の上、受講証の発行費用とし、日本褥瘡学会の会員の方は**1,000円**、非会員の方は**8,000円**を「参加証(A)」1部とともに現金書留にて下記までお送りください。
セミナー当日は「参加証(A)」1部と「現金書留送付の控え」の2点を会場受付で提示し、**参加費3,000円**をお支払いください。
 <<現金書留郵送先>>
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号新宿ラムダックスビル
 (株)春恒社学会事業部内日本褥瘡学会事務局
4. ＜受講証の発行を希望されない場合＞
「参加証(A)」を1部印刷の上、セミナー当日に「参加証(A)」を会場受付で提出し、**参加費3,000円**をお支払いください。
5. 受講申し込みの締め切りは平成29年1月18日正午、受講証の発行費用のご郵送は平成29年1月19日必着です。

★注意事項

- ・ 受講証は早退者にはお渡しできません。遅刻者については、最初の演題開始から30分までに会場に入らなかった場合はお渡しできません(聴講のみは可能)。
- ・ キャンセルにつきましては、いかなる理由でもご返金はいたしかねますので、ご了承ください。
- ・ 申し込みは先着順とさせていただきます。定員になり次第、事前受付を終了させていただきます事をご容赦下さい。

● 「在宅褥瘡管理者」対応講習について

本セミナーは、「在宅褥瘡管理者」の資格として必要な、日本褥瘡学会等が行う在宅褥瘡に関する講習に該当します。本セミナー後にお渡しする受講証は平成26年4月改定診療報酬より新設の「在宅患者訪問褥瘡管理指導料750点」の在宅褥瘡管理者の届出に必要です。

「在宅褥瘡管理者」の資格取得に、本セミナー受講と5症例の経験が必要になります。

● 日本褥瘡学会在宅褥瘡予防・管理師を取得しよう!

日本褥瘡学会では、褥瘡に関する予防、医療の進歩を促し褥瘡医療の水準を向上させ、国民の福祉に貢献することを目的として、認定制度を設けております。

認定資格の一つに日本褥瘡学会在宅褥瘡予防・管理師(以下在宅褥瘡予防・管理師と略記)があります。これは在宅療養における褥瘡の予防、治療の啓発、向上をはかるために別に定める日本褥瘡学会認定師(以下認定師と略す)と連携を保ちながら、在宅における褥瘡の予防、治療の向上をはかることを役割としています。

認定資格は…

- 1) 看護師、医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、介護福祉士の免許を有し、免許証取得後4年以上を経過していること。
- 2) 資格申請時に日本褥瘡学会正会員であること。
- 3) 2年以上在宅療養に従事し、褥瘡の予防および医療に関与していること。
- 4) 在宅褥瘡セミナーを1回以上受講し、受講証明証(参加証がこれに相当します)を提出すること。などが主要な要件となります。

詳しくは日本褥瘡学会HPをご覧ください。

なお、認定師と在宅褥瘡予防・管理師は、疑義解釈として在宅褥瘡管理者として認められております。

*詳しくは、<http://www.jspu.org>をご参照ください。

日本褥瘡学会 在宅褥瘡セミナー（埼玉県 第7回教育セミナー）

プログラム

9：45～9：50 オリエンテーション 開会のあいさつ

9：50～10：00 在宅褥瘡予防・治療ガイドブック第3版について

解説者：渡邊 成

10：05～10：40 褥瘡とリスクファクターの解説

講師：三郷中央総合病院 柴田智恵子

褥瘡とはなにか、それを引き起こすリスクファクターにはどのようなものがあるか

在宅で使いやすい褥瘡発生予測ツールは何か 医療関連機器圧迫創傷とはどんなものか？

【褥瘡の概要】【褥瘡の予防方法】

10：45～11：20 褥瘡の状況をどの様に表現するか

講師：越谷市立病院 島田美穂

DESIGN - R による記載法

褥瘡の写真撮影法

【褥瘡の概要】

11：25～12：05 褥瘡の予防と治療における在宅の栄養支援

講師：鶴巻温泉病院 高崎美幸

【褥瘡の予防方法】【褥瘡発生後の褥瘡ケア】【在宅褥瘡医療の進め方】

【昼食休憩・移動】

12：55～13：55 在宅におけるポジショニングの実際（見学と演習）

ベッドでの体位変換、座位（椅子や車いす）、体圧の測定法

講師：所沢緑ヶ丘病院 藤村 宏

・インストラクター

所沢緑ヶ丘病院 理学療法士4名

伊藤祐紀 (PT)、降矢弘 (OT)、山口夏季 (PT)、宇和川洋平 (PT)

特別養護老人 はるびの郷 1名 天野あんな (PT)

川口市立医療センター 1名 柿原直哉 (PT) 以上合計6名

・アシスタント6名

国立身体障害者リハビリテーションセンター 新妻淳子

彩の国東大宮メディカルセンター (WOCN) 藤屋聡子

埼玉メディカルセンター (WOCN) 関根まゆみ

独立行政法人国立病院機構東埼玉中央病院 (WOCN) 本田頼子

埼玉県看護協会 鳩ヶ谷訪問看護ステーション (WOCN) 持田智江美

秀和総合病院 (WOCN) 能登千恵

【褥瘡の予防方法】【発生後の褥瘡ケア】 講堂で6グループ編成の予定

14:05～14:55 在宅褥瘡患者を抱える家族への指導とスキンケアのコツ

講師：けやき訪問看護ステーション 清野美砂 【在宅褥瘡管理の基本】【発生後の褥瘡ケア】

15:00～15:35 在宅における褥瘡の薬物療法、ドレッシング法

講師：神奈川 皮膚科 袋医師 【褥瘡の治療】

15:40～16:15 在宅における褥瘡の外科療法の実際と、入院手術の適応判断

講師：イムス富士見 形成外科 深井 孝郎【褥瘡の治療】

16:20～17:30 総合討論

司会：渡邊 成

在宅褥瘡患者さんを支える視点

：褥瘡を発生させない、または発生した褥瘡の治癒をもたらすためには何をすべきか

老人看護専門看護師 川口市立医療センター 大友晋

ケアマネージャー 埼玉県看護協会 鳩ヶ谷訪問看護ステーション 所長 白石恵子

けやき訪問看護ステーション 清野美砂

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 神奈川 皮膚科 袋医師

【褥瘡管理の基本】

【在宅褥瘡医療の進め方】

17:30～17:35 閉会のあいさつ